

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 安全・安心まちづくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 県民生活課 交通安全・コミュニティ係 電話番号：058-272-1111(内3015)

E-mail : c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 776 千円 (前年度予算額) 913 千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	913	0	0	0	0	0	0	0
要求額	776	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

「安全・安心まちづくり県民運動」を更に推進していくため、関係機関との連携強化、県民の意識啓発等、行政が主体となって各種施策を展開していく。

(2) 事業内容

①安全・安心まちづくり県民大会開催事業

県民の防犯意識の高揚を図るための大会を開催

開催時期：令和8年10月（全国地域安全運動期間中）

参加人員：170名程度

内 容：安全・安心まちづくり賞等表彰等

②安全・安心まちづくり懇談会開催事業

県施策を検討するため、有識者から意見を諮問（年1回）

③安全・安心まちづくり地域安全活動推進費

防犯ボランティア団体等への活動支援の一環として情報提供及び活動物品（ベスト、腕章等）を支給する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「安全・安心まちづくり県民運動」を展開するため。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	178	委員謝礼等
旅費	99	県民大会講師旅費、職員旅費等
需用費	312	資料代、ボランティア団体等活動物品購入代
役務費	187	郵送料等
合計	776	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

- 2 健やかで安らかな地域づくり
- (2) 安らかに暮らせる地域
- 5 犯罪・交通事故防止の推進

(2) 後年度の財政負担

犯罪情勢を見ながら事業内容について検討する。

(3) 事業主体及びその妥当性

地域と一体となって、犯罪や事故の撲滅・防止を図り、安心して暮らせる地域をつくるため、県がその主体的役割を果たすことが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の「地域の安全は地域で守る」意識の高揚を図るとともに、地域防犯ボランティア活動の推進、地域防犯に携わる各実施主体の連携を強化し、犯罪のない安全で安心できるまちづくりを進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H15)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①安全安心まちづくりボランティア団体登録数（累計）	39	392	394	396	400	98%
②フレンドリー企業登録数（累計）	-	182	184	186	190	96%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年 度	(1) 安全・安心まちづくり地域連携会議の開催（中止） (2) 安全・安心まちづくり県民大会の開催 R4年 10月 11日(火) ぎふ清流文化プラザで開催 (3) 安全・安心まちづくり懇談会の開催 1回 (4) 安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣 4回派遣 県民大会、防犯情報の発信等により、県民の防犯意識の高揚につながっている。 指標② 目標：193 実績：181 達成率：94 %
令和 5 年 度	(1) 安全・安心まちづくり県民大会の開催 R5年 10月 10日(火) ぎふ清流文化プラザで開催 (2) 安全・安心まちづくり懇談会の開催 1回 (3) 安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣 3回派遣 県民大会、防犯情報の発信等により、県民の防犯意識の向上につながっている。 指標② 目標：193 実績：181 達成率：94 %
令和 6 年 度	(1) 安全・安心まちづくり県民大会の開催 R6年 10月 22日(火) ミナモホールで開催 (2) 安全・安心まちづくり懇談会の開催 1回 (3) 安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣 1回派遣 県民大会、防犯情報の発信等により、県民の防犯意識の向上につながっている。 指標② 目標：193 実績：182 達成率：94 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	刑法犯認知件数は令和4年から増加に転じるとともに、子どもの声掛け事案や特殊詐欺など県民の治安に対する不安を感じている。 「地域の安全は地域で守る」という意識の高揚を図り、地域防犯活動を支援する事業の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	地域防犯活動に取り組む団体は全県下に広がり、刑法犯認知件数は令和6年は11,973件とピーク時の平成14年の51,956件から減少しており、地域の治安状況の改善に一定の効果があったものと考えられる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	必要最低限の経費で効果的な内容としている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

防犯ボランティア団体においては、活動するメンバーの高齢化や人材の確保が課題となっている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

「地域の安全は地域で守る」意識の高揚を図り、県民の自助意識、地域の共助意識の高まりへ繋げていくとともに、住民が主体的に地域安全活動に取り組めるよう、行政からの啓発を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	